

東 中 学 区

1 はじめに

「夢に向かいたくましく生きる児童生徒をともに育てる小・中連携はどうあればよいか」というテーマのもと、小・中のよりよい連携の在り方を模索してきた。「東中学校区小・中連携部会」「児童生徒交流会」の二つを柱として行った。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
6月 1日	第1回連携委員会 ・今年度の活動の決定	2月	第2回連携委員会 ・来年度の活動について
9月 7日	東中学校区小・中連携部会 (桂城小)	3月	学級編制会議
11月 1日	児童生徒交流会		

3 活動の実際

(1) 東中学校区小・中連携部会

授業参観と分科会が行われた。授業参観では、桂城小児童の元気に授業に取り組む姿が見られた。また、分科会は校長部会・事務部会・養教部会と、テーマごとに第1～3分科会に分かれての話し合いがもたれた。第2分科会では、互いの名前を呼び合うことであいさつの向上が見られたことや、各小学校と中学校のあいさつ運動による交流の様子が発表され、今後も継続していくことで、連携を深めていくことが確認された。

①授業参観 各学年の授業を各学校の先生方が自由に参観するという形式で行った。

②分科会 (各テーマについて各小・中学校から話題提供された)

第1分科会 テーマ 「自分の思いを表現させる指導の工夫について」

第2分科会 テーマ 「名前を呼び合うあいさつ運動について」

第3分科会 テーマ 「中学校1年生の情報交換」(桂城小、有浦小、長木小・雪沢小の3部会)

(2) 児童生徒交流会

来年度入学予定の4小学校の児童が中学校を訪問した。今年度も、児童と東中生が一緒に授業を体験するという形式にした。また、授業の後は生徒会主催の集会で交流した。集会では、クイズとゲームにより明るい雰囲気での交流することができた。またその後、生徒会執行部員の案内で、放課後の各部活動を見学した。



【児童生徒交流会の交流集会の様子】

4 おわりに

児童生徒交流会では、小学生が中学生と授業を一緒に体験することによって、児童生徒の交流をより深めるとともに、中学校の授業をより身近に感じてもらうことができた。東中学校区小・中連携部会においては、さらに活動の見直しを行っていききたい。各小学校とのあいさつ運動も今後継続していききたい。また、例年3月に行っている学級編制会議においては、非常に有意義な情報交換が行われており、こちらもぜひ継続していききたいと考えている。